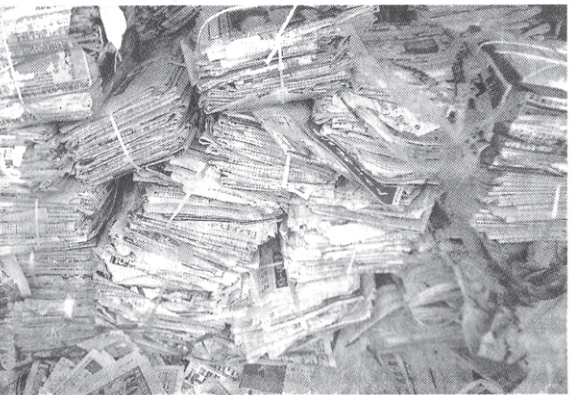


# 古紙回収で ポイント付与 安田産業 全国の商業施設へ 導入目指す

総合リサイクル業の安田産業（統括管理本部／京都市、安田奉春社長、☎075・604・5353）は、一般市民参加型の古紙回収プロジェクト「エコぽす」を北海道で開始した。量販店などに回収ボックスを設置し、持ち込まれた古紙の量に応じてポイントが付与するもの。一定のポイントがたまれば商品券と交換できる。今後、全国の商業施設への展開を進めていく考えだ。

プロジェクト第1号として、札幌市の量販店で8月11日からスタートした。設置した回収ボックスに市民が古紙を持ち込むと、1%当たり1円が会員カー

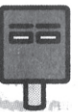
持ち込んだ古紙の量に応じてポイントが付与される



ドに付与され、たまったポイントは店舗で使用できる商品券に引き換えられる。

対象となる古紙は、古新聞や古雑誌、古本、段ボール、包装紙などで、回収量は1日当たり平均300〜400キ。現地の古紙回収は、こんの（福島市、紺野道昭社長）に委託し、同社が選別や製紙メーカーなどへ出荷している。

ポイント加算機や計量機を搭載した回収ボックスは、寺岡精工（東京・大田、寺岡和治社長）が開発した。ポイントカードのバーコー



イメージキャラクターの「エコぽす」

ドを専用機で読み取った後、はかりに古紙を載せ、完了ボタンを押せばポイントが発行されるという仕組み。「ポスト

のように気軽に利用でき、メリットが見えやすい」という。

安田産業が実施する一般市民参加型の資源リサイクル活動は「空き缶で笑顔づくり」などに続き4弾目。今回の古紙回収プロジェクトについて、同社地球環境室の安田義崇氏は、「回収率アップや市民の環境意識向上につながればうれしい。設置先はリピーターを増やすこともできる。独自の環境貢献活動として、全国へ広げていきたい」と話している。